

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公表番号】特表2001-514611(P2001-514611A)

【公表日】平成13年9月11日(2001.9.11)

【出願番号】特願平10-538605

【国際特許分類第7版】

C 0 6 D 5/00

B 6 0 R 21/26

C 0 6 B 31/02

C 0 6 B 33/04

C 0 6 B 43/00

【F I】

C 0 6 D 5/00 Z

B 6 0 R 21/26

C 0 6 B 31/02

C 0 6 B 33/04

C 0 6 B 43/00

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月21日(2004.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年10月21日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第538605号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 ミシガン州48331、ファーマントン ヒルズ
、スイート B-12、ハガーティールード 27200名称 オートモーティブ システムズ ラボラトリー インコーポレーテ
ッド

3. 代理人

住所 東京都新宿区本塩町19番地 AOIビル

電話 (5366) 9961

氏名 弁理士 (10284) ^{A284} 葛和 清司

4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容 別紙のとおり

以上



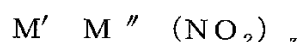
方 式 審 査



別紙

請求の範囲

1. 水和又は無水の、車両のエアバッグ受動拘束装置システムを膨らませるために有用なクリンカー生成ガス発生組成物であって、該組成物が、非アジド燃料及びポリニトロ遷移金属錯体アニオン含有配位錯体酸化剤化合物を含み、該配位錯体酸化剤化合物が式：



式中、(1) M' は、アルカリ金属及びアルカリ土類金属から選択された2つ以上の異なる金属且つ4つ以下の異なる金属を含む複数の金属を表わし；(2) M'' は、周期表（新IUPAC）のグループ4-12の遷移金属から選択された1つの金属からなり；そして(3) 配位錯体の金属成分によって決定される $z = 4$ 又は 6 のアニオン性ニトロ配位子によって表わされる、前記組成物。

2. 配位錯体酸化剤化合物が全ガス発生組成物の10-90重量%の濃度で用いられ、非アジド燃料が全組成物の5-70重量%の濃度で用いられる、請求項1に記載の組成物。

3. 非アジド燃料が、オキサミド、オキサリルジヒドラジド、ウラゾール類、テトラゾール類、トリアゾール類及びトリアジン類；テトラゾール類、トリアゾール類及びトリアジン類の非金属誘導体及び金属誘導体；直鎖状ニトラミン及び環状ニトラミン；そしてグアニジン、ヒドラジン及びヒドロキシルアミンの誘導体からなるグループから選択される、請求項1に記載の組成物。

4. グアニジン誘導体が、グアニジン硝酸塩、アミノグアニジン硝酸塩、ジアミノグアニジン硝酸塩、トリアミノグアニジン硝酸塩（湿潤または非湿潤）、グアニジン過塩素酸塩（湿潤または非湿潤）、トリアミノグアニジン過塩素酸塩（湿潤または非湿潤）、グアニジன்பিকリン酸塩（湿潤または非湿潤）、トリアミノグアニジன்பিকリン酸塩（湿潤または非湿潤）、ニトログアニジン（湿潤または非湿潤）、ニトロアミノグアニジン（湿潤または非湿潤）、ニトロアミノグアニジンの金属塩、ニトログアニジンの金属塩、ニトログアニジン硝酸塩、ニトログアニジン過塩素酸塩及びそれらの混合物からなるグループから選択される、請求項3に記載の組成物。

5. ウラゾール類、テトラゾール類及びテトラゾール誘導体が、ウラゾール、アミノウラゾール、テトラゾール、アゾテトラゾール、1H-テトラゾール、5-アミノテトラゾール、5-ニトロテトラゾール、5-ニトロアミノテトラゾール、5, 5'-ビテトラゾール、マンガン5, 5'-ビテトラゾール、アゾビテトラゾール、ジグアニジウム-5, 5'-アゾテトラゾレート、ジアンモニウム5, 5'-ビテトラゾール、テトラゾール類の金属塩および非金属塩及びそれらの混合物からなるグループから選択される、請求項3に記載の組成物。

6. トリアゾール類、トリアジン類及びそれらの誘導体が、2, 4, 6-トリヒドラジノー s-トリアジン、2, 4, 6-トリアミノ s-トリアジン、メラミン硝酸塩、トリアゾール、ニトロトリアゾール、ニトロアミノトリアゾール、3-ニトロ-1, 2, 4-トリアゾール-5-オン、トリアゾール類及びトリアジン類の金属塩および非金属塩及びそれらの混合物からなるグループから選択される、請求項3に記載の組成物。

7. さらにアルカリ金属、アルカリ土類金属、遷移金属および非金属の硝酸塩類、亜硝酸塩類、過塩素酸塩類、塩素酸塩類、次亜塩素酸塩類、クロム酸塩類、シュウ酸塩類、ハライド類、硫酸塩類、サルフィド類、過硫酸塩類、パーオキシド類、オキシド類、ニトラミド類及びそれらの混合物からなるグループから選択される少なくとも1つ追加の酸化剤化合物を含む、請求項1に記載の組成物。

8. 少なくとも1つ追加の酸化剤化合物が、全ガス発生組成物の0.1-50重量%の濃度で用いられる、請求項7に記載の組成物。

9. 少なくとも1つ追加の酸化剤化合物が、相安定化硝酸アンモニウム、硝酸アンモニウム、過塩素酸アンモニウム、硝酸ナトリウム、硝酸カリウム、硝酸ストロンチウム、銅オキシド、モリブデンジスルフィド、ニトログアニジン、アンモニウムジニトラミド及びそれらの混合物からなるグループから選択される、請求項7に記載の組成物。

10. さらにメタロセン及び元素の周期表のグループ1-14から選択される金属のキレートそして金属のクロム塩；原子状硫黄及びそれらの混合物からなるグループから選択され、全ガス発生組成物の0.1-25重量%の濃度で用いられる衝撃緩和剤を含む、請求項1に記載の組成物。

11. さらに石灰、ホウケイ酸、ヴァイコールガラス、ベントナイト粘土、シリカ、アルミナ、ケイ酸塩、アルミン酸塩及びそれらの混合物からなるグループから選択され、全ガス発生組成物の0.1-10重量%の濃度で用いられる不活性スラグ生成剤及び冷却剤を含む、請求項1に記載の組成物。

12. さらにホウ素、カーボンブラック、マグネシウム、アルミニウム、チタニウム、ジルコニウム、ハフニウム、遷移金属ヒドリド及びそれらの混合物からなるグループから選択され、全ガス発生組成物の0.1-20重量%の濃度で用いられる点火助剤を含む、請求項1に記載の組成物。

13. さらにグラファイト；ボロンニトリド；アルカリ金属、アルカリ土類金属及び遷移金属のステアリン酸塩；ポリエチレングリコール；ポリプロピレンカーボネート；ポリアセタール；ポリビニールアセテート；ポリカーボネート；ポリビニールアルコール；フルオロポリマー；パラフィン；シリコンワックス；及びそれらの混合物からなるグループから選択され、全ガス発生組成物の0.1-15重量%の濃度で用いられる加工助剤を含む、請求項1に記載の組成物。

14. 粘土、珪藻土、アルミナ及びシリカからなるグループから選択される不活性な組み合わせスラグ生成剤及び冷却剤をさらに含み、該スラグ生成剤が全ガス発生組成物の0.1-10重量%の濃度で用いられる、請求項1に記載のガス発生組成物。

15. 水和又は無水の、車両のエアバッグ受動拘束システムを膨らませるために有用なクリンカー生成ガス発生組成物であって、該組成物が、即ち、

非アジド燃料；およびニッケル酸ヘキサニトロニカリウムバリウム（I I）、及びニッケル酸ヘキサニトロニカリウムストロンチウム（I I）及び銅酸ヘキサニトロニカリウムストロンチウム（I I）からなるグループから選択される配位錯体酸化剤化合物を含む、

前記組成物。

16. ニッケル酸ヘキサニトロニカリウムバリウム（I I）及びグアニジン硝酸塩を含む、請求項15に記載の組成物。

17. 銅酸ヘキサニトロニカリウムストロンチウム（I I）及びアンモニウム5,5'-ビテトラゾールを含む、請求項15に記載の組成物。

18. ニッケル酸ヘキサニトロニカリウムストロンチウム (I I) 及び5-アミノテトラゾールを含む、請求項15に記載の組成物。

19. 水和又は無水の、車両のエアバッグ受動拘束システムを膨らませるために有用なクリンカー生成ガス発生組成物であって、該組成物が、即ち、

非アジド燃料；およびコバルト酸ヘキサニトロニナトリウムカリウム (I I I) 及びコバルト酸ヘキサニトロニカリウムナトリウム (I I I) からなるグループから選択される配位錯体酸化剤化合物を含む、

前記組成物。

20. コバルト酸ヘキサニトロニナトリウムカリウム (I I I) 及びグアニジン硝酸塩を含む、請求項19に記載の組成物。

21. コバルト酸ヘキサニトロニカリウムナトリウム (I I I) 及び5-アミノテトラゾールを含む、請求項19に記載の組成物。

22. 請求項1～21のいずれかに記載のガス発生組成物を含む、車両乗客拘束装置。

23. 請求項1～21のいずれかに記載のガス発生組成物を含む、乗員安全拘束装置。